



豚，牝，経産豚，パークシャー種

42. 6. 14, 鹿児島県末吉町, 南日本畜産工業会社内末吉屠場にて健康豚として屠殺, 解体され, 内臓検査の際発見されたものである。1 側卵巢は大人拳大 (9~10 cm) に腫大している。卵管采, 卵管腹腔口, 卵巢間膜, 輸卵管等明瞭に認められる。腫大卵巢は厚い結合織被膜に包まれ, 表面に大豆大の黄体, 胞状卵胞が数個認められる以外, 表面滑沢である。剖面は稍柔で均質性, 点状, 斑状の暗赤色と灰白色部が混在している。(写真A, 左は正常卵巢である)。他側卵巢は異状はなく, そのほかの内臓諸臓器には異状は認められない。

以上により, 腫大卵巢に原発した, 転移を見ない腫瘍であることが判る。

組織学的所見:

大小不同の管腔が認められ, 中に赤血球を充し, 周囲には結合織の増殖が著明である (写真B)。極めて小さい管腔が多数認められるが内皮は概ね一層で, 管腔の中

に赤血球が 1, 2 個存在し, 毛細血管であることが判る (写真C)。またところによつては充実しているところ, 壊死, 出血の見られるところもある。Sudan III 染色では脂肪の存在は認められない。組織像は毛細血管を含む大小不同の血管増殖像で, 内皮は一層, 分裂像ほとんどなく, かつ転移が見られない点などから血管腫 Hemangioma と診断されよう。

由来, 卵巢原発腫瘍には, 腺腫, 腺癌, 卵巢顆粒膜細胞性腫瘍, 卵巢基底膜細胞性腫瘍, 肉腫性線維腫などが知られているが, 卵巢原発の血管腫は極めて珍らしく興味ある症例である。その後同屠畜場の豚の内臓検査の際同じように腫大した卵巢が見出され, 検査の結果, 前述の腫瘍と肉眼的, 組織学的所見は全く同じで卵巢原発の血管腫である。末吉屠畜場は年間約 103,000 頭の豚が屠殺されているが, 卵巢原発の血管腫は約 5 万頭に 1 頭の割合に発生を見るようで極めて珍しい腫瘍と考えられる。